

課題番号6

| 基本方針：Ⅲ           |                                      | 課題名：新規就農者の地域への定着 |         |
|------------------|--------------------------------------|------------------|---------|
| 対象：就農希望者および新規就農者 |                                      | 計画期間：H30～R2      |         |
|                  |                                      | 事務所名：中部農林振興事務所   |         |
| 普及指導事項           | 活動内容                                 | 活動成果（計画当初→R1年度末） |         |
| ①円滑な就農に向けた支援     | 就農相談<br>就農計画作成支援                     | 認定新規就農者数         | 4名 → 6名 |
| ②新規就農者のフォローアップ   | 巡回指導<br>栽培技術講座<br>現地見学会<br>サポートチーム活動 | 経営向上計画作成者数       | 6名 → 9名 |

| 総合評価（コメント）  |
|---|
| <p><b>A：3名</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■説明がとても好印象でした。フォローアップのステップごとに目標値を作ってもよいかと思えます。また委員から出た、移住環境支援で、奈良県が遅れをとっていること、是非、農林部長を通じて、他部署へ伝えていただきたい。深刻な問題です。</li> <li>■年々就農者が増加するなかで、県が窓口となるので就農希望者の不安が解消され、スムーズに就農できる体制づくりに期待します。</li> <li>■奈良県農業の将来を考えるうえで避けて通れない課題。今後も積極的に取り組んで頂きたい。</li> </ul> <p><b>B：3名</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■頑張っている新規就農者とそうでない人の差が大きく、個別に対応していくのは大変だと思う。普及員だけの問題ではないと思う。</li> <li>■農業従事者の高齢化が進んでおり、新規就農者の受け入れは急務である。すぐに大きな成果がなくて活動は継続してほしい。</li> <li>■上田委員が指摘されているが、次世代投資資金の活用でも1年ではなく中期的な視点で取り組む必要がありそう。</li> </ul> |

| 普及指導計画への反映状況等  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現段階では、就農希望者に対してワンストップ窓口として対応しており、面談の経緯や情報提供内容を所定のデータベースに保存して、普及指導員共有のデータとしています。このデータを活用し、就農に至らなかった対象者側の背景と要因、支援者側の対応方法を分析して、今後円滑な対応に繋がります。特に、就農困難と判断されるものに対して、自ら納得して就農断念するように導いていきます（第一関門として厳しくする）。</li> <li>■ 就農後のフォローアップについては、農業次世代人材投資事業の中間評価時に提出された経営状況等の資料および事前の指導経緯に関する資料を整理し、経営改善の有無にかかる要因別に分類して、今後の指導指標を確立します。</li> </ul> |